

事務連絡
令和3年12月1日

都道府県下水道担当課長	殿
政令指定都市下水道担当部長 (上記、各地方整備局等経由)	殿
市町村下水道担当部長・課長 (上記、各都道府県経由)	殿
日本下水道事業団事業課長	殿
都市再生機構下水道担当課長	殿

国土交通省水管理・国土保全局下水道部
下水道事業課事業マネジメント推進室課長補佐

下水道工事における安全対策の徹底（その3）について (令和3年10月26日京都府発注の工事に伴う死亡事故)

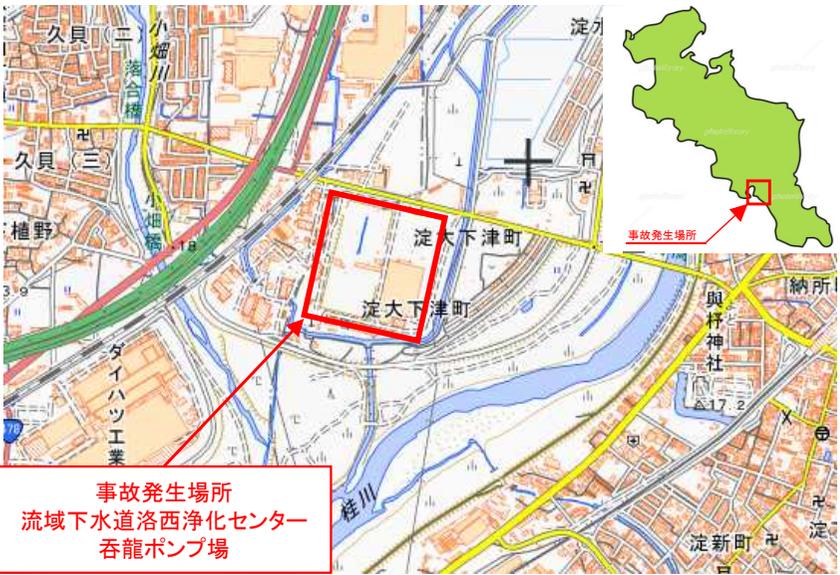
本年10月26日、京都府発注の雨水ポンプ設備の新設工事において、作業員がポンプ室でバルブ（φ1500、L=0.5m、質量約2t）取付作業を行っていたところ、コンクリート架台にベルトで仮固定していたバルブのフランジ面を清掃するため、固定ベルトを外した際に、当該バルブが作業員側に転倒し、下敷きとなり死亡するという事故が発生しました。

本事案の詳細については現在調査中であり、今後、事故原因や再発防止策等について確認の上、改めて事務連絡を発出します。

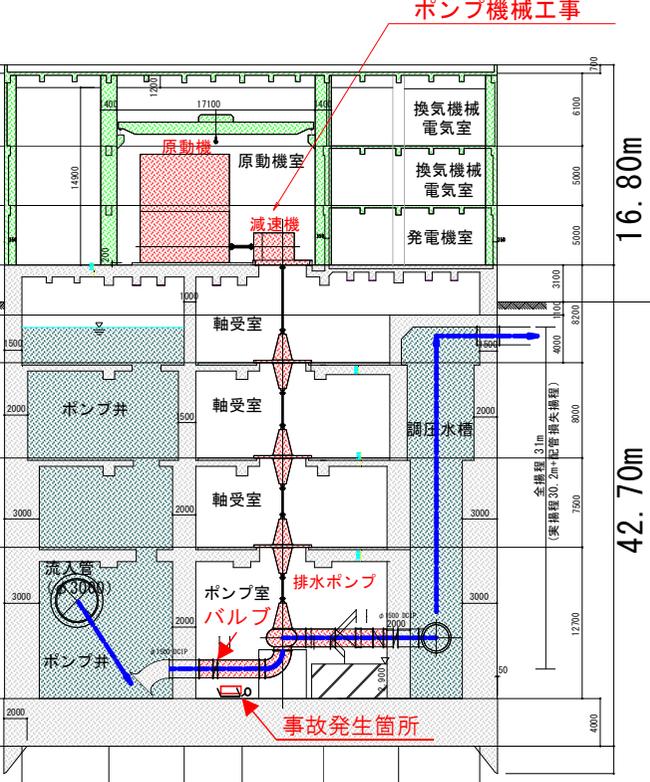
発注者におかれましては、下水道工事や維持管理作業の安全管理について、改めて関係者への注意喚起を徹底するなど、事故の未然防止に努めていただくようお願いします。

- 発生日 : 令和3年10月26日(火) 17時40分頃
- 発生場所 : 長岡京市勝竜寺樋ノ口地内
(桂川右岸流域下水道洛西浄化センター内呑龍ポンプ場)
- 報道 : あり
- 工事概要 : 呑龍ポンプ場内にポンプ設備(機械)を設置する工事
- 事故内容 : 作業員がポンプ室でバルブ(φ1500、L=0.5m、質量約2t)取付作業を行っていたところ、コンクリート架台にベルトで仮固定していたバルブのフランジ面を清掃するため、固定ベルトを外した際に、当該バルブが作業員側に転倒し、下敷きとなり死亡した。

【発生場所】

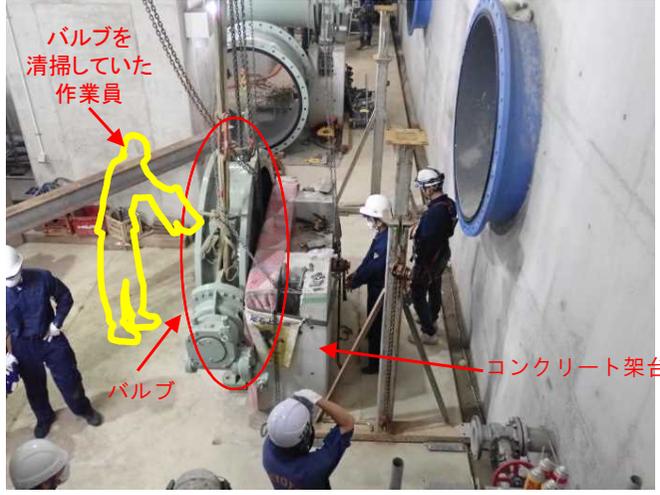


【ポンプ場断面図】



<事故発生前>

事故発生前は、バルブをコンクリート架台と抱き合わせて、固定ベルトで転倒しないように固定していた。



【状況写真】

<事故発生時>

作業員が清掃に支障となる固定ベルトを外したところ、バルブが転倒し、当該作業員が下敷きとなった。

